

令和6年度学校評価報告書

北海道札幌西陵高等学校長

1 本年度の重点目標

- (1) 教育のプロフェッショナルとして、「改革の精神」を持った教育活動の推進
- (2) 「明確な目標設定と情報の共有」による目標達成のための協働の実現
- (3) 教職員および校務分掌間の一層の連携による効果的かつ効率的な運営
- (4) 教育の「可視化」を図り、家庭や地域に「開かれた学校づくり」の推進

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に授業に取り組むことができる学習環境の構築のため、教員間での授業や考査の在り方など、教務に関する業務及び日程や手順を共有することができた。 ・ICTを活用した校内研修を積極的に実施し、ICTを活用した授業展開の構築に向けて個々のスキルアップを図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学び直しを含む基礎基本の充実と、探究学習の充実による主体的な学びの充実を期待する。 ・多様化する進路希望に対応するため、個々生徒の学力向上を実現できるよう授業内容を工夫するなどの方策の検討を期待する。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・授業環境のあり方について、生徒の端末の有効的な活用を含めた改善を要する。 ・年々、低学力層の生徒の入学が増加傾向にある。生徒の実態に即した授業展開及び業務の明確化及び学年の垣根を超えた情報の共有を図り、円滑な組織運営を務める。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業までにどのような生徒を育成するか、教職員で共通理解を図る。 ・生徒指導事故を未然に防ぐ取り組みを実施する。 ・今までになかった問題に対する新しい解決法及び対策を模索する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃、美化に関して総じて評価が低いですが、多くの工夫で改善が可能であり改善を期待する。 ・バス停でのマナーが向上している等、地域の方々からも評価されていることから、益々の指導を期待する。 ・今年度、地域の行事にも多くの生徒が参加してくれた。生徒会やボランティア部の更なる活動の充実に期待する。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の安全な学校生活を守るため、現行ルールの検証や再構築が必要である。そのため、分掌等による新たな審議を進める。 ・通学時の事故防止のため、安全指導や自転車乗車時のヘルメットの着用など、事故防止策と命を守る指導を同時に行う。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学力層に幅がある現状を踏まえ、基礎基本の充実、そのうえで進路学習の充実を図る。 ・生徒指導と進路指導を計画的に実施する。そのための教職員対応の徹底と意識の共有に務める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・変化の激しい時代、心身ともに健全で自分の考えや目標をしっかりと持ち、正しい判断ができる若い力の育成に期待する。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・入試システムの変革に伴う対策が急務であり、併せて探究的な学習を充実させる。 ・外部アプリケーション等の活用により、個別最適な学習を進め、進路意識を高めるとともに、さらなる「One up」プロジェクトの実現を図る。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページやPTAだよりへの掲載 ・学校評議員会及びPTA役員会における報告 ・西野地区関係団体連絡協議会における報告 	

